

平成27年10月1日発行 発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局 高松市西内町7番11号 香川県高等学校PTA会館内
TEL.087-851-4614 FAX.087-851-4628 E-mail:ka-koup@mxi.netwave.or.jp URL:http://kagawa-koupren.com/

会長あいさつ



香川県高等学校PTA連合会

会長 泉 満

6月10日の平成27年度総会においてご承認をいただき、会長の再任をお受けすることになりました。高P連会長就任も4年目となりますが改めて初心に帰るとともに役員理事の方々と力を合わせて活動に取り組んでまいりますので更なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

少子高齢化の波の中、就学・就労に関する問題や雇用形態の多様化などにより、若者の離職率の増加に加えて世界規模の金融不安や紛争など子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化し、価値観も多様化しています。この様な大変厳しい状況の中で21世紀を担う子どもたちが、豊かな社会性と優れた想像力を養い、自ら責任を持って行動できる人間として成長していく事は、すべての人の共通の願いです。そのためには子どもたちが意欲を持って生き生きと充実した生活を送れるよう支援する必要があります。

高校時代は、先生方から勉強だけでなく人生の先輩として多くを学び、友人と語り合い、将来に夢と希望を抱き、自分自身を見つめて進むべき道を模索する大切な時期です。またこの時期は自己確立・自主自立を学び、成長期の大切な「よき子離れ」「よき親離れ」の時期でもあります。それ故にこの高校3年間は社会人として巣立つ前の子どもに伝えていける最後の時間でもあると思います。我が子に親として、人生の先輩として、ひとりの人間として、生き方や価値観などを伝える大切な時期です。しかしこの時期の子どもたちは多くの知識を吸収し、感性も磨かれ、難しい年頃です。どのように伝えていくのでしょうか？ PTA活動を通じて、先生方や保護者同士の交流の場としてお互いに語り合っていたいただければ願います。

高P連といたしましても会員皆様のご理解とご協力を得ながら子どもたちのより良い環境づくりに努めてまいりたいと思っています。保護者の皆様の一層のご支援とご協力をお願いし、皆様の積極的な参加と様々な機会に率直なご意見や考えをお聞かせください。よろしくお願いいたします。

PTA NEWS

高P連より
第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会

大会テーマが決定しました!!

発信! PTAとふるさとのソコヂカラ

～空と海 オリーブのくになら～

最優秀校 高松西高校
優秀校 小豆島高校、香川中央高校

大会まであと10ヶ月!

～各校からのご応募、ありがとうございました～

今年度総会でご承認いただき、準備委員会から実行委員会へと移行しました。7月28日には第1回実行委員会を開催し、今後具体的な内容について諸準備を整えていくこととなります。香川県高P連組織と地域・ふるさとのチカラを結集した有意義な大会になりますよう、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



●期 日 平成28年7月15日(金)
●会 場 アルファあなぶぎホール 大ホール

高P連より
ホームページを開設しました!! (平成27年9月1日より)

<http://kagawa-koupren.com/>

高P連だよりとともに、本会からの情報発信と伝達、会員相互の交流を図ってまいりたいと思います。アクセスしてください!

高P連より((一財)香川県高等学校教育振興会主催)
第22回大学・専門学校訪問研修会

期 日 平成27年10月16日(金)・17日(土)
訪問校 大阪学院大学、関西大学、近畿大学、大阪調理製菓専門学校

全国高P連より
「東日本大震災」義援金報告と募金活動の継続

平成23年～26年度までに寄せられた義援金総額は125,649,759円(27.6.30現在)となり、7次にわたって該当県高P連を通じて直接学校・保護者に配分されております。全国高P連では、義援金の募金活動を継続します。

会長あいさつ	1	PTA活動紹介	3
PTA NEWS	1	土庄高校、高松工芸高校	
平成27年度香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰式及び高P連総会	2	第57回中国・四国地区高P連大会岡山大会報告	4
一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会		第65回全国高P連大会岩手大会報告	4
PTA会長等研修講演会報告	2		



平成27年度 香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰式及び高P連総会 一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会

6月10日、アルファあなぶきホールにおいて、平成27年度PTA活動推進功労者表彰式、香川県高等学校PTA連合会総会及び一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会が開催されました。表彰式では、西原県教育長を始め、県教育委員会、関係団体等のご来賓の臨席をいただきました。今回退任されたPTA活動推進功労者として、表彰状37名、感謝状53名、県連本部功労者12名が受賞され、泉満会長から賞状と記念品が贈られました。来賓祝辞のあと、受賞者を代表して観音寺中央高校PTA会長であり、本会理事であった三宅泰弘様が謝辞を述べて式は終了しました。



高P連総会においては、
 ○26年度事業報告
 ○26年度収支決算、監査報告
 ○27年度事業計画案
 ○27年度収支予算案
 ○27年度役員選任
 ○第57回中四国地区高P連大会(岡山大会)について
 ○第65回全国高P連大会(宮手大会)について
 ○28年度第58回中四国地区高P連大会(香川大会)について
 の議案について、本会役員より説明・報告の後、審議され全議案が承認されました。
 なお、第58回中四国地区高P連大会(香川大会)の議案に先立って、大会テーマの選考の結果、最優秀・優秀賞に選ばれた3校に対し表彰式を行い、各PTA代表者に賞状と記念品が贈られました。

続いて、教育振興会定時評議員会においては、
 ○26年度事業報告
 ○26年度収支決算、監査報告
 ○理事及び監事の辞任に伴う改選の3議案が滞りなく議了したのち報告事項に移りました。
 ○27年度事業計画
 ○27年度収支予算
 ○公益事業について
 以上をもって会は終了しました。



役員名簿 平成27年度 一般財団法人香川県高等学校教育振興会

役員名簿 平成27年度 香川県高等学校PTA連合会

役職名	氏名	所属校	所属校役職名
理事長	泉 満	高松南	顧問
常務理事	井上 直樹	振興会事務局	事務局長
理事	平岡三千雄	高松西	校長
	中筋 政人	高松商業	校長
	高井 信一	観音寺第一	校長
	竹本 恵一	高松第一	校長
監事	小野 眞澄	大手前	校長
	藤野 讓二	高松工芸	会長
	大西 浩	丸亀城西	会長

役職名	氏名	所属校	所属校役職名
会長	泉 満	高松南	顧問
副会長	林 周二	三本松	会長
	小林 康則	香川中央	会長
	平岡三千雄	高松西	校長
理事	吉田 重隆	石田	校長
	市原 伸作	高松	校長
	植田 昌和	坂出工業	会長
	岡田将一郎	丸亀城	会長
	谷畑 佳邦	普通寺第一	会長

役職名	氏名	所属校	所属校役職名
理事	高井 信一	観音寺第一	校長
	眞鍋 尚	観音寺中央	会長
	栗林 哲	坂出第一	校長
	小野 眞澄	大手前	校長
	野瀬 五鈴	香川中部養護	校長
常務理事	井上 直樹	高P連事務局	事務局長
監事	藤野 讓二	高松工芸	会長
	大西 浩	丸亀城西	会長
顧問	綾田 福雄	元高P連会長(大手前高松)	顧問



PTA会長等研修講演会報告

人材育成とリーダーシップ～子どもたちを幸せにする教育～

ネットトヨタ南国 取締役相談役 横田 英毅 氏



香川県教育センターにおいて開催されました。
 今年度は、「人材育成とリーダーシップ～子どもたちを幸せにする教育～」と題して、ネットトヨタ南国の取締役相談役である横田英毅氏による講演でした。

講演では、将来を担う子どもたちの成長と人材育成において「大切なことは何か、大切なことを、大切に。」ということを理解させる教育の必要性和、その源である学校経営の重要性を指摘しました。
 そして、資料で現在の「学校教育」を鬼(道具を自由に使いこなし未来を切り開く力)と金棒(知識)に例えて、「金棒が先に大きくなると振り回せず、知識が生かせない人になる。今の日本の教育は大きな金棒を持った小さな鬼を大量生産しているのでは?」と、また、同時に「学校教育の目的は社会に出て成長し続けるための力を身につけさせることであり、知識を身につけさせる(金棒を大きくす

る)ことだけでは解決されない。」と指摘をされました。
 子どもたちが成長し幸せになるためにも、「自分自身で問題を発見し、その解決策をうまく探しだし、解決する力を身につける。」この過程の教育が大切であり、「目的意識(何のためにやるのか)を持ち、目標達成を目指した教育」を実践する重要性を強調されました。そのためには、人材育成の源である学校において「問題を発見し、変える力と変わる力」を持つ学校経営は、今後子どもたちの成長と幸せのために進化し、変化が必要があると提言されました。
 横田氏の熱心な講演に、メモを取りながら聞き入る方や講演後に控室に質問に来られる方もおられ、充実した研修講演会が開催できたことを報告します。

講師紹介

トヨタビスタ高知(現ネットトヨタ南国) 発足と同時に副社長に就任。その後、同社取締役社長、会長を歴任され、2010年より同社取締役相談役に就任。ネットトヨタ南国を全国のトヨタ販売会社300社中、12年連続顧客満足度No.1にする輝かしい実績を上げ、現在に至っています。

P T A 活動紹介

土庄高校

本校の正門前には世界で一番狭い「土淵海峡」があり、それにちなんで「読書のご・部活動のぶ・地域連携のち」に様々な活動をしています。

を合わせて、どぶち教育として幅広い教育活動をしています。朝は10分間、全校生が静かに落ち着いて本を読むことから始まります。部活動の加入率も高く、おらかな校風で、生徒は伸び伸びとしています。地域との交流も、学校行事や総合学習、ボランティア活動を通して盛ん



保育園児との玉入れ

に行われており、地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

保護者も、本校の卒業生が多く、29年度の統合に向けて、PTA活動を通して思い出作りの場にしたと思っています。その一つとして、今年の体育祭では、玉入れに保護者も参加しました。初の試みにも関わらず、多くの保護者に参加していただき、子どもたちと共に楽しいひと時を過ごすことができました。また、文化祭では毎年PTA主催のフリーマー

ケットを実施し、収益金を、子どもたちの教育活動のための物品購入にあてていますが、今年度は新しい取り組みにもチャレンジしたいと考えています。定時制でも、地域や保護者の方と一緒に様々な活動をしています。

今年5月に地域の人たちと協力してお地藏さんを制作する『地藏制作会』を行いました。土庄町役場の方、ガイド協会の方、保護者の方など総勢30名の方が協力してくださいました。皆さんから、ユニークなアイデアを頂き、可愛らしいお地藏さんが100体ほど出来上がりました。ぜひ、まちの中で新しいお地藏さんを見つけてください。また、初の試みとして、7月に保護者の方に参加をして頂き、『七夕食事会』を開催しました。生徒・保護者・教員が一緒になって作った夏野菜カレーと冷麺は絶品でした。

これからの子どもたちのために何ができるのかを考えながら、PTA活動に取り組んでいきたいと思っています。



地藏制作会の様子

高松工芸高校

本校は全国でも数少ない、工業と工芸・芸術科を併せ持つ特色ある専門高校です。

さて、本校PTAでは総会をはじめ、役員会・評議員会、各種研修への参加などさまざまな活動を行っています。秋に行われる工芸展では、PTAマーケットも行っています。工芸展は他校の文化祭よりも、学習成果発表の色合いが濃く、その特色を生かした活動を行っています。

PTAマーケットの準備から実施の流れは、次の通りです。

- 1 物品収集(夏期休業(10月末)保護者・教職員に文書で依頼)
- 2 販売準備(一週間前)
- 3 販売会場準備(二日前(前日)会場設営(機械科生徒))
- 4 販売準備(前日)
- 5 工芸展(二日間)

販売する物品は、文書により保護者に協力を依頼し、収集します。一週間前には保護者の方にお集まりいただき、商品の選別、個包装、値付けなどの販売準備を行います。

工芸展準備期間には、生徒もPTAマーケットの運営に関わります。昨年度は機械科生徒がPTAマーケットを担当し、テーブルの配置やディスプレイ用パーティションの製作・組み立てを行いました。また会場の看板を新たに自作し

ました。看板のスタンド部分には生徒が溶接実習で培ったスキルを生かした装飾を施しました。看板面には黒板塗料を塗り、保護者の方に文字をチョークで書いていただき、生徒と保護者のコラボ作品ができあがりました。



工芸展当日は、生徒が会計を担当しました。また自主的に校内を回ってPTAマーケットのPRも行うなど、生徒はいきいきと積極的に活動してくれました。その甲斐もあり、多くのお客様にご来場いただき、売り上げは一昨年を上回りました。収益は、三年後の百二十周年記念行事に役立てたいと考えています。

工芸展という本校最大の行事で、保護者、生徒、教職員が協力して活躍した、すばらしいPTA活動となりました。



第57回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 岡山 大会報告

大会テーマ つなごう子育て 結ぼう手と手
「晴れの国からもんげー夢を」



7月10日(金)、岡山市市民会館において岡山大会が開催され、中国・四国各県より1660名、香川県からは39校110名が参加しました。

開会行事の後、県立岡山盲学校講師、(福)岡山県視覚障害者協会理事 竹内昌彦氏による「私の歩んだ道」見えないから見えなくてもの講演がありました。竹内氏より講演の初めに目の不自由な方々に対するお願いとして、点字ブロックに物を置かないこと、盲目の方を導く時は右腕を掴んでもらい誘導すること等をユーモアに溢れた巧みな話術で話されました。竹内氏は失明したことにより小学校で何度もひどいじめに遭われました。目が見えない孤独や悲しさの中で竹内氏を救ったものは、自分の命は自分だけのものではないということ。自分の命は自分と両親、またその父母から連綿と受け継がれている尊い命であり、大切な命を自ら絶つ子どもたちを嘆き、命を粗末にしてはいけないと愛情を込めて語られました。保護者や教員、また一人の人間としても心を揺り動かされた素晴らしい講演でした。

昼食の後、高校生による発表が行われ、最上太鼓、バトン、吹奏楽が披露され、日頃の練習の成果を発揮したひたむきな演技に感動しました。その後、研究協議が行われ、鳥取県立倉吉東高校による「進路指導とPTA」子どもの背を押す育友会「NPO法人倉吉鴨水館」の設立をめぐる、広島県立松永高校による「生徒指導とPTA」忍の一字で見守るPTA、岡山県立岡山工業高校による「社会貢献活動とPTA」保護者・生徒・地域が協力した社会貢献活動「虹の架け橋プロジェクトを中心として」と題して、それぞれ独自の特色ある取り組みについての実践発表がありました。どの発表も保護者と学校だけでなく、地域と一体になって人材育成に取り組みされている。そしてその思いは皆同じ、すべては子どもを良くしたいという共通の思いだということが伝わる発表でした。その後活発な質疑応答が行われました。

閉会行事では、小川浩基大会実行委員長の挨拶の後、次期開催地である本県泉満会長の香川大会への歓迎の挨拶とともに、本県参加者全員で香川のPRと歓迎の想いを伝え、岡山大会が無事終了しました。

今大会は、来年の香川大会に備えて役員を始め各校に視察をお願いし、担当の任務について見学をしていただきました。ありがとうございました。



香川大会PR

第65回 全国高等学校PTA連合会大会 岩手 大会報告

大会テーマ 未来圏からの風をつかめ!
「新時代を担う君たちと共に」

8月19〜21日、岩手大会が岩手産業文化センターを主会場に開催され、全国より約9500名、香川県より31校56名が参加しました。

20日、開会式・表彰式の後、芝浦工業大学学長 村上雅人氏による『夢高くして足地にあり The sky is the limit』と題して基調講演が行われました。専門の超電導工学の様々な実験を通して超電導の意義を伝えられ、その経験を踏まえて夢を追及することの素晴らしさを語られました。また教育の大切さとして、教師の役割は若者に夢を与えることである。「凡庸な教師はただしゃべるだけ。良い教師は分かるように説明する。優れた教師は図で示したり具体例で示したり実演で示す。偉大な教師は学びの心に火を付ける。」など示唆に富むお話であり、尊敬できる教師との出会いが無数の知への探求心につながることができることをご自身の体験から話されました。

分科会は7会場に分かれて行われました。「特別第2分科会」では、「防災教育・復興教育」と題して、岩手大学地域防災研究センター 越野修三教授の講演の後、被災学校、行政、PTAをバネリストにパネルディスカッションが行われ、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県からの具体的な事例は、災害に対する教訓と、防災教育の重要性を認識させられるものでした。

翌21日は、映画「るろうに剣心」「ハゲタカ」、大河ドラマ「龍馬伝」等の演出で知られる映画監督 大友啓史氏による『アドリブを生きる力』と題した記念講演がありました。ドラマや映画制作において数限りなく起こるアクシデントを作品の魅力につなげるのは「アドリブ力」である。俳優数名を例にあげながら、アドリブが多く出来る人たちの協働が面白いものを生む。人生も同じであり、アドリブ力のある人は予期せぬアクシデントに遭った時の対応に強い。その状況を楽しめる力がある。子育てもクリエイティブな仕事であり、アドリブ力を大切に蓄えながら子どもたちを育ててほしいと説かれました。

全国高P連会長表彰

～おめでとうございます～
岩手大会において香川県から受賞された個人・団体表彰者(校)は次のとおりです。

- ◆個人表彰
 - ・三宅 泰弘 氏(右) (観音寺中央高校前PTA会長) 単P会長2年 県高P連理事2年
 - ・森末 文徳 氏(左) (普通寺第一高校前PTA会長) 単P副会長1年 単P会長2年 県高P連理事2年



- ◆団体表彰
 - ・香川県立琴平高校PTA(右)
 - ・香川県立高松東高校PTA(左)



川波礼子PTA会長 村岡善邦PTA会長

